

## 検査優先種一覧

目	科	種名	習性	備考
<b>検査優先種1(18種)</b>				
カモ目	カモ科	ヒシクイ	冬鳥	<p>■主に早期発見を目的とする。</p> <p>■高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)に感受性が高く、死亡野鳥等調査で検出しやすいと考えられる種。</p> <p>■死亡野鳥等調査で、H22年度以降の発生時を合わせた感染確認率が5%以上であった種。</p>
		マガン	冬鳥	
		シジュウカラガン	冬鳥	
		コクチョウ	冬鳥	
		コブハクチョウ	迷鳥	
		コハクチョウ	冬鳥	
		オオハクチョウ	冬鳥	
		オシドリ	留鳥	
		ヒドリガモ	冬鳥	
		キンクロハジロ	冬鳥	
カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ	留鳥	
		カンムリカイツブリ	冬鳥	
ツル目	ツル科	マナヅル	冬鳥	
		ナベヅル	冬鳥	
チドリ目	カモメ科	ユリカモメ	冬鳥	
タカ目	タカ科	オジロワシ	冬鳥	
		オオタカ	留鳥	
		ノスリ	留鳥	
ハヤブサ目	ハヤブサ科	ハヤブサ	留鳥	
重度の神経症状が観察された水鳥類				
<b>検査優先種2(9種)</b>				
カモ目	カモ科	マガモ	冬鳥	<p>■さらに発見の可能性を高めることを目的とする。</p> <p>■過去に日本と韓国等において死亡野鳥で感染確認のある種を含める。</p>
		オナガガモ	冬鳥	
		トモエガモ	冬鳥	
		ホシハジロ	冬鳥	
		スズガモ	冬鳥	
タカ目	タカ科	オオワシ	冬鳥	
		クマタカ	留鳥	
フクロウ目	フクロウ科	フクロウ	留鳥	
<b>検査優先種3</b>				
カモ目	カモ科	検査優先種1、2以外全種(カルガモ、コガモ等)		<p>■感染の広がりを把握することを目的とする。</p> <p>■水辺で生息する鳥類としてカワウやアオサギ、コウノトリ、クロツラヘラサギ、検査優先種1あるいは2に含まれないカモ科、カイツブリ科、ツル科、カモメ科の種を、また鳥類を捕食する種として検査優先種1あるいは2に含まれないタカ目、フクロウ目、ハヤブサ目の種を、死亡野鳥を採食するハシボソガラス及びハシボソガラスを対象とした。</p>
カイツブリ目	カイツブリ科	検査優先種1以外全種		
コウノトリ目	コウノトリ科	コウノトリ		
カツオドリ目	ウ科	カワウ		
ペリカン目	サギ科	アオサギ		
	トキ科	クロツラヘラサギ		
ツル目	ツル科	検査優先種1以外全種		
	クイナ科	オオバン		
チドリ目	カモメ科	検査優先種1以外全種(ウミネコ、セグロカモメ等)		
タカ目	ミサゴ科	ミサゴ		
	タカ科	検査優先種1、2以外全種(トビ等)		
フクロウ目	フクロウ科	検査優先種2以外全種(コミズク等)		
ハヤブサ目	ハヤブサ科	検査優先種1以外全種(チョウゲンボウ等)		
スズメ目	カラス科	ハシボソガラス、ハシブトガラス		
<b>その他の種</b>				
上記以外の鳥類すべて。				

注1: 重度の神経症状とは、首を傾けてふらついたり、首をのけぞらせて立っていられなくなるような状態で、正常に飛翔したり、採食したりすることはできないもの。

注2: 検査優先種については今後の発生状況、知見の集積等により見直しされる。シーズン中も状況に応じて追加されるため、その都度通知する。